

に投じ全体の形姿を更に變化せしめ又紛糾せしむる爲に結局吾人の眼に映し來る處は無数の形式の優雅にして繊功なる紛糾に過ぎないとして彼處此處の枝端に完全なる形の葉を表はし又は一二の葉の相稱的結合を示して樹木の種屬性を明に示し統一と趣致とを興ふるには是も一方の葉の叢群をして他の叢群と形を類似せしむるには足りぬ、其れ故部分部分の構造を如何に規則正しく數學的であつても其の部分から出來た全体は自然の作業の他の何れに比して遜色のない程變化的無限的であると感ぜざるを得ないのである。

挿木法に就て

西澤生

元來樹木の種子には、豊熟年度と凶熟年度との別ありて、毎年同一の結實を收得すること能はず、而して凶熟年度の種子は其の結實量の尠なるのみならず、其の質も劣悪にして發芽率不良なるものなり、故に造林計劃中毎年一定数の苗木を植栽すること能はず、又所望の利益を擧ぐることも能はざるを以て、之れが救済の策として從來の養成苗を集約的に保育し、更に將來直ちに苗木の速成を講ぜざるべからず。之れが速成法中には、挿木に據るものと、施肥及刺撃に因るものとの二法あり、又挿木法には直接山地に挿木造林を行ふものと、床挿と稱して先づ挿木を以て苗木を養成し、然る後に播種養成苗木の如く山地へ植栽するものとあり。施肥及刺撃に因る方法とは、從來の如く水肥を多く澆注するもの、及び土地に因り、種々なる人造肥料を施する法並に特に刺撃を興へ苗木の生長を促進せしむるもの即ち滿庵其他の鹽類を施し、或は電流の刺撃に因り促進せしむるの方法あるも、最後のものは多くの費用努力を要し、事少しく複雑なるを以て、茲には本題に就き述べれば次の如し

一、山地直挿法
挿木を以て直接山地に挿するの方法にし

に向じ、亦急斜なる山腹に在りては表面を山頂に向け、裏面を露間に面せしむる原則とす、然るに其の裏面を直射光線及び山腹烈射の陽光に曝露せしむれば、技條の水分が蒸奪さる、こと劇しき爲めに、徑々枯死すること尠からず。又樹種によりては切口に於て皮の内部と材質の間に柔き海綿狀の組織を生じ、この物より根を生ずることあり、或は直ちに内皮より根を生ずることあり、を以て切口に對し内皮と材質の結合を保持せざるべからず、又或種には切口に瘤狀の肉塊を生じ久しく新根を生ぜざることあり。此場合には其の肉塊を削り取り刺撃を興ふるときは根を生ずるものなり。又差植の最初未だ根を生ぜざる間は地中の養分を下部より吸収すること能はざるを以て特に日光の直射を受ける時は枝中の水分蒸發して、体中の營養を働かすことなくして枯死するを以て、枝中の水分を保持すること肝要なり。

二、床差養苗法

此方法は前述直差法と異なることなく、唯苗圃に於て之れを行ふの別あるのみ、即ち床地に前法を適用し、播種苗木の如く一年目に床替することなく、滿二年間若くは根の發育不良なる場合には尙一ヶ年間依然存置するか、又土壤地味の関係上細根が少く、長き球根のみ生ずる土地には、當初二ヶ年播種後は一ヶ年移植するを要す、此法を行ふに方りて注意すべきは播種養苗の

稍々乾燥地を好むに反し、よく濕潤の地を選び差條するを佳とす尤も前記第二年度の床替を爲す場合には稍乾地即ち排水の十分なる處に行ふにあり

三、挿木に適する樹種

差木は土地の湿度適當にして空氣中に濕氣の多き日陰地を好むものなれども、亦樹種の撰定に關係を有すること大なるものなり、即ち差木に適する樹種は、快癒力の盛なる樹種ならざるべからず、一般に樹皮の薄くして且つ軟かなるものは挿木に適し、堅硬なる皮を有し若くはコルク質を有する樹種は挿木に適せず例令最も善く挿木に適するものは、スギ、ヒノキ、サハラ、ヒバ、マキ、ヤマナラシ、ドロノキ、ヤナギサクラ、等にして之れに次ぐものはイタフ、カウヤマキ、キリハンノキ等なり、而してさし木に適せざるものは、マツ類、モミ、シラベ、ツガ、ナラ、クリ、シラカバ、ブナクルミ類なり。

以上の挿木は、事業簡易にして苗木を仕立つるの煩少なく、又直ちに植樹するの便あるのみならず、杉につきては赤枯病を豫防するの効あり、又費用を減ずること大なるを以て最も利益あることを信ず、然れども寒氣強くして降霜の害に罹り易き地方に於ては、充分の霜除を爲し、土地の凍結を遅くる様注意すべきこと肝要なり。(完)

※ ※ ※

琉球孤島に於ける森林植物に就し (其五)

國原 咲也

第二節 一位科の林木
(四) 一位科。本科の林木にして本孤島に産するものはイスマキ及びナギを主とし共に天生する所なり。

ナギの別名チカラシバ漢字名竹柏

學名 Podocarpus Nagaii R.Br.

ナギはイタフと共に針葉樹類中潤葉を有するものなれども濃き緑色針葉樹類様の光澤平行脈を有すること樹脂の香等により花及び材を検せず其葉により識別し得本土には多く天生を見ず土佐の一部に天生の老林ありと聞くのみなるに我琉球孤島の諸島の森林地方には固有の潤葉樹林内に混生し種子島の北部安城立山の山林に於て抱大の老大木を多數に見受けたり沖繩本島にては既に伐採利用し盡し丸太材以上のものを見ず稚樹到る所に散見す。

思ふに本樹は暖帶南部熱帶の上部界を郷土とせる爲本土にては其郷土は農耕地及第二第三次乃至は人工林に變化し其跡を留めず單に神社佛閣の境内に遺存せられたるものなるべく奈良春日神社境内の老林の如きは増植せられたるものならんも母樹は附近に天生せしものなるべし本樹は雌雄異株にして果實は指頭大球形熱熟す發芽佳良強さ陰樹にして幼時の成長晩きも能く庇陰に堪へ

直幹無節の良材を産し用材に乏しき本琉島にては建築材に賣用しイヌマキに代用す本土にては皮付の儘床柱に供し樹は單仁を含み染料及靱皮に用ひ臺灣にては梢楠木に代用し指物調刻用に供すと云ふ尙本樹は白蟻に對し抵抗強きもの如し。本樹の一種 辨別明ならず他日の調査の後に譲る 本樹は特に大増殖の價値ならんも用材樹種に乏しき本琉島にては多少の造林を必要とすべく天生樹の保護増殖を計るべきなり庭園樹盆栽として雅致あり二三園藝變種をなす。 イヌマキ 別名クサマキ、マキ、ヒトツバ(種子島)キヤギーヌチヤギー(沖繩)漢字名被横羅漢松、樅木(沖繩)學名 播予及性狀 イヌマキはナギと等しく暖帶南部を郷土とするも稍北方に迄生じ熱帶の上部より暖帶の上都迄植栽し得可し本土にては生垣として普通に見る所四國九州中國の南部紀、豆、房、總には天生の老大木を存すと云ふ我琉球孤島に於ては種子島屋久島の山林には天生樹の多くを見ざるも大島沖繩の森林中には普通に見る所の樹種なり。葉は巾二三分長さ二四寸技に密生しよく鬱茂す雌雄異株にして花は三四月開き實は八月より十月に亘りて熟す實は大粒大緑熟實の下方の花被肥大し紅熟漿質甘味を有し以つて鳥獸をしてを計らしむ果狀あだかも坊主の赤き衣を掛けたる如きより羅

漢松の名を得たり。性陰樹にしてよく庇陰に堪へ又陽光強き所にも生育すに適せず乾燥瘠薄にたへ海岸の砂地潮風烈しき所山の峯通りにもよく生育す深根性にして風害に抵抗強く南島林木中適應力大にして蕃殖適地に富む重用林木の一なり。効用 材は黄白色にして肌理通直工作至便美觀を呈し南出建築界の惡敵なる白蟻に蝕害せらるゝこと少きより小は殘丸太の類より曲材否形材に論なく使用せられ本土に於ける扁柏にも比す可く珍重し一石五拾四以上の市價あり錢丸太と雖も五錢拾錢の價値あり樹皮はマキハダとなる。 沖繩とイヌマキ 前述の如くイヌマキは本縣に於ける貴重重用の林木なるより琉球舊藩廳時代には禁伐木の筆頭として嚴に伐採を禁じ庶民の使用を禁ぜしこと木曾の五木に於けるが如くし地元部落民をして造林を實行せしを以て明治の初年頃には山林至る所移大なる美林を存じ純林をなす所多かりし由なるも政治上の大變革に伴ふ人心の荒蕪と文化に伴ふ木材需用の増加と新政の不徹底には百數十年の祖先の功蹟を一朝にして伐りつくし今日に於ては小丸太以下のものを産するに過ぎず鹿兒島、大島、宮崎方面より輸入を仰ぎつゝあり。 然れ共現時國頭地方の森林を跋渉すれば竹叢及 林の中に多數卵木の生長しつゝあるを見沖繩小林區署にては天然生の保育を試

みつ、あり植樹造林の成績も佳良にして播種造林も見込あり生長日余りに早からず柱材を得るには三十年以上五十年を要すべしと雖も間伐材の全部相當の金となるを以て一町歩六千本以上一万本位を植付く可く種子農産にして取播にあれば三ヶ月にして發芽し、翌年の秋より二年目の秋迄には一尺乃至二尺となり全部山出しするを得可ければ天生の保護と共に大に造林を希望する樹種なりとす只尺より虫科の一害虫あり全林をして青色を留めしめざるに至ることあり注意を要す是は きたびえだしやく Rops-Sacri-Butte-ya (附)かや及いぬがやは孤島の北端種子島西之表及伊關に於て二三を見たるも、恐らく移植せられたるものなるべし。 (1)ソデツ、補遺、正誤 ソデツ 種子の發見地は種子島西之表。 種子島大ソデツの所在地は北種村安納。 ソツツ喰初めの効勞者は宮城、神星の二名にして功により黄冠を賜ふと見ゆ。 第三節 松杉科の林木 (四)松杉科 本科の林木は屋久島に於ける濕帶産及特産のものなどを併せ十五種を産す。播布表を示せば左の如し

Table with 2 columns: 木名 (Wood Name) and 備考 (Remarks). Rows include 黒松 (Black Pine), 赤松 (Red Pine), 州子久島繩島灣 (Shuzi Kujima Nishimura Bay), and 大島七道迄 (Oshima Shichido). A note mentions '自生栽培' (Native Cultivation).

Table with 2 columns: 琉球松 (Ryukyu Pine) and 七島より特産 (Specialty from Seven Islands). Rows list various tree species like タカネゴ, ヤウ, 杉, 扁柏, 花柏, 梅, ハラ, 側柏, 柏心及這, 廣葉杉, ハヒネズ, シマムロ, and 水松.

屋久島に於ける針葉樹類は尙多少存すべく種名の如き特殊のものなるや計られざるも再調の上報すべし。 本琉島の特産はりうさうまつ及しまむろの一變種にしてたかねごやうの種子島のみ存するも注意すべく水松廣葉杉の如き南清産の移植せらるゝも面白し。 挿木の得失 越 畔 得点 1 挿木は種子によりて得たる樹木よりも其の地方の氣候風土に能く適應す 2 母樹の性質を能く遺傳す 3 早熟の爲め植物体の衰萎を來すことなし 4 役而幼時結實すること尠し即ち實生杉は瘠地にては五六年にして結實衰萎するもの

あり 4 抵抗力大なるが故に近時林業界に恐慌を來せる彼の杉赤枯病の虞少し 5 挿木は幹莖枝條好く發達して風雨害及免害の抵抗力旺盛なり 6 造林費を軽減す即ち苗木代及植付費實生のものより小なり 大分縣日田郡地方の實例(但大正五年調査)實生苗百本四拾錢挿木苗百本參拾錢 一人一日の功程 實生苗百八十本挿木二百本 7 杉、扁柏、羅漢柏等の有要主林木は之を施行し得 實例 (杉)宮崎、熊本、鹿兒島、大分、千葉、福井 諸縣就中宮崎縣鐵肥地方鹿兒島縣大隅地方及大分縣日田郡地方最も盛なり (羅漢柏)石川縣郡知所謂能登の檜林にして世代の久しき途に原産地青森東津輕地方のくさまきも判然區別し能ふと言ふ蓋し漸進淘汰の結果にたらずんばあらず 8 暖帯にありては挿木后全々床替することなく滿二ヶ年にして山出するを得べく却つて大に手数を減ずるを得 9 良種淘汰の年限を短縮す普通農作物に於て數旬若は一ヶ年を要するものが枯木にありては數十年も成熟期を要するに付吾人理想的の良種を得んとせば農作物に於

て三四年遅くも十年位にて出來得るものが挿木に於ては實に三四百年の星霜を要す然して挿木に依る時は此年限を非常に短縮する事を得 10 挿木は復化の虞少し。即ち普通の實生は母樹の良好なる性質が、ろの子苗に遺傳せずして、野生の状態に復歸すること多し。實例園藝工この復化は屢々見受くる所にして、現今園藝樹木が接木、挿木、或は伏條など、植物の無性生殖にて行はるゝ所以なりとす。 欠点 1 下刈費及手入費を増大す。即ち幼齡の間は根部の擴張に力を費すを以て伸長頗る遲鈍にして爲に雜草に屈伏せらるゝ、期間久しければなり 2 一時に多數の苗木を得ること困難なり。 是一時に多數を得んとせば、勢ひ母樹の損傷を大ならしむる恐れあればなり且つ大西積に亘りて採集せざるべからず。是不可能の事なりとす 3 天候の關係大なり。挿木後の早魘又は多濕は切口の大なるだけ影響速にして枯損其の他被害多し。 4 挿木は心腐病にかゝり易し。但しこれは周圍の境遇、植方、地質が主原因にして、取扱ひに注意せば、その虞なしといふ。(本多博士の説)且つ現在福井縣今立郡地方に於ては、全くこの病を見付けざるが如し。

5 挿木は一齋林を作ること困難、又是母樹及立地の關係上發育不整を免れざるが如し。

右の如く挿木の得点は、その失を補ふて余りあり。即ち現今の状態にありては、未だ挿木の不足を來すこと敢て困難ならず。且つ大造林を行ふ程造林進歩し居らず。從而下刈、手入の手續に堪へざる程度にも達せず。又挿木造林が要求に應ずる能はざる程度交通運輸の便開けて、密植を要することなし。依而將來は實生苗と共に盛んに此法を奨励することを至當と信す。唯茲に最も留意すべきは、實行にあたりて、果して經濟上何れを是とするやにあり。

隨筆

○來る者は遂に來る

宇志生

◎來るべきものは當に來るものが當然の歸結である、今當に來りたる經濟界の變動も初めより來るべく運命附けられたる當然の歸結である

◎來るべきものが來るに何等の不思議も何等の恐煉もあるべき筈が無いのである、然るに何事ぞ四邊皆動搖狂乱して或は政府を呪咀し或は自らを呪つて驚愕措く處を知らず、遂に生命を斷つものなすら生ずるに至る

◎人の世總てが此の如くにして塞翁が馬と云ふものは拘へる繩の如くと云ふのも畢竟轉換し廻轉し動搖し沈靜する走馬燈の如きものである事は今更に感ずる迄もない處である

◎歡樂極まつて哀愁生ず、花下の乱舞の後に來る哀愁、紅燈綠酒沈溺の後に來る處の悲愴、今亦波の如くに押寄せたる黄金境、成金境、有頂天境より真逆様に墜落したる悲哀、哀愁は其深刻の度に於て最も甚大なものたるを疑はない

◎隨所、隨時、不斷吾人が筆にし口ににして驚戒したる處の狀態が今當に來つたのである、或人は痛快の極であるを欣び、或る者は覺醒劑の良好なるものとして謳歌する、私も亦來るべきものが來り墜つべき處に墜ちたる事を以て足許の見へなかつた有頂天輩に對する天與の一針として寧ろ今日の狀態を痛快とする一人である

◎客年の三月絹織物有名の産地十日町に於て宿舍は織物業者を以て充され、百余名の藝妓は終夜足を棒にして飛び廻り如何なる陋屋も工場の一部に充當せられて役人様は居るに處なく、人間と名の附くものは假令弓の如き老婆すらも引張り合、頼まんとするも人なく郡長も遂に手鍋を下げざるべからざるに至つた其客年と今日とを對比して吃驚せざらんとするも能はざるのである

絶へて取引所大商店は悚然たる地獄行の面貌をした番頭共が鳩首して吐息し漏して居り失業の女工夫人は唯徒らに今後の雲行を仰ぐのみである、其街亦寂として笑聲娼叫絶は轉行人をして今更らに昨今の感に堪へれらしむるのである

◎更に又豊山村に之を見るも市街地に接したる多くの町村に於て常氣の利きたる輩にして株を口にせず、又手を出さざりし者は極めて珍である、其現物を握りたる者は別とし然らざるものにして千乃至壹貳萬圓の追敷を負はせられざりし者は始んどないものである

悲惨とも云ふべきは祖先傳來の山林を五千壹萬と云ふ彼逆が未曾而夢想だせざりし飛切りの値段に迷惑せられて賣拂ひ其金によつて前記株界に手を染め蓮花一朝の夢として放擲し去つた幾つかの事例である

來るものは遂に來り騷るものは久しからず吾人は又是の好機に於て激勵の先驅者となつて堅實的建設の設計者たり將又指導者たらなければならぬ

馬鹿者さなれ 溪景生

普選の盛に叫ばる、世の中だ。民衆の力と腦力の著しく發達して來た事は争はれない事實である。大學も雨後の筈のやうに盛に増設されるこ、十年たつたら學士の肩書のついた人間が五月蠅程多くなるだらう、國民がみんな小利口な人間となつて來る、然

し學校でも國家でも利口的な小利口者ばかりでは發達しない

人がカンニングをやるのに、真面目臭つて居るのは馬鹿だ。試験もない此の節勉強やる奴も馬鹿だ上級生であつて下級生に對して少しも意張れない奴も馬鹿だマルクスやクロボトキンの流行る此の修養の本等を見る奴も馬鹿だ、おどらのやうな馬鹿者もあれば自己の高尙なる本心によつて馬鹿に近い生活を送る居る學士様もある

然し考へて見ると自分の親達は悉く馬鹿だ尊い時間と汗によつて得た金を我が子の爲めに恵むで呉れる、米國には自己の巨萬の富の大部分を社會事業の爲に投する大馬鹿が往々あるかくすればかくなるものと知り乍ら止むに止まらず自ら獄屋に投じた松陰先生にも大馬鹿者だ、釋迦基督あれば馬鹿者の標本だ

僕だつたらあんな馬鹿の行爲はしたくない元來我が學校には馬鹿者が少いだから國立問題も水泡に歸して了ふのだ、クラス會室長會議あれば賢者のより集だ例令馬鹿らしい説を云ひ出してもそれが成立しない眞の大馬鹿者の説だつたら成立するのであらふが、眞の馬鹿者は居らないのか? 僕は家康に馬鹿らしい行動を見出す事が出來ない日光に行つた時敬虔の念の起きた人は恐らくなかつたであらう賢者果して賢者か? 否賢者で部下の者に蛇蝎のやうに厭はれて居る人もある、缺點のないやうな人

もそれは大なる缺點の所有者だ

弟に一寸の過夫があればとて直ぐ怒る人は馬鹿の範圍に入れない、蜂に刺されても蚤に食はれても分らぬやうな底力の分らない顔の所持者——それが馬鹿者だ、弟が兄の無言の態度に畏敬するならそれも亦馬鹿者だ、然し弟にも馬鹿者がいないから兄も馬鹿者とはなれない、これが世の中だ、世の中が進歩するに隨つて此の馬カ者の入る分子間隙が少くなつて來る田舎よりも都會に其の生れる人が少ない、これ進歩の中の退歩であるまいか

世の所謂賢人はいくらでも居るいくらでも出て來る、地熱のやうに底力の分らない馬カ者の少いのが現社會の缺陷だ、釋迦基督孔子のやうなそれ程馬カ者でなくとも少くも馬カのする仕事に共鳴を持つだけの馬カ者であらいたいのだ

文苑

初夏

靜雲

○花散りて青葉茂りて雨ふりて蛙なくべく夏は來にけり

夕

生

○夕されは森の梢に陽はゆれて無心に見ゆるさざしき心

○君に送る手紙に知らず夜は更けしほど、

雜報

◎實習だより

大正九年度春期實習は四月一日開始五月一日終了せり此の間約一ヶ月純實習日數十八日此の短時日にしてしかも豫期の効果を擧げ豫定の通り進捗せしは一は本年度は第一學年生徒の多くなりしに依れるも又生徒各自の勤勞の結果に依らずんばあらず實習開始以來天候順調にして床替苗木の如きも新葉○に頗る活着よきは誠に欣喜に堪へざる所なり

然して本期實習は大体造林實習にして今本期實習を各別に説明せば凡そ左の如し

一、苗圃

イ、播種 面積一〇〇坪

扁柏落葉松赤松栗櫟等其他

第二學年生自四月二十八日至全月二十九日の間に於て施行

ロ、床替 面積約一町五反歩

扁柏落葉松赤松栗櫟公孫樹等其他

全學年自四月六日至五月一日の間に於て施行

外に第三學年生の試験にかゝる各種苗

木接條試驗及各種々子の播種試驗等あり
 二、造林地の地務新植補植其他裏山演習林
 一、新植地拵 百積約三町歩

第二學年 第一學年生自四月二十二
 日至四月二十三日間にて施行

三、新植、面積約三町歩

植栽苗木扁柏一町歩當り本數四千五
 百本植

第一、三學年生自四月二十八日至
 全月二十九日の間に於て施行

八、補植 少量

植栽苗木櫟

外に第三學年生の施行にかゝる裏山演習
 林崩壞地にせあかちや植栽及櫟種子造林
 地直播試驗其他あり

三、農作物の仕付面積二反七畝歩

四、植物園及庭木の入手 約五〇〇坪

五、其他以上

會 員 異 動

○鷹見勳君 岐阜縣惠那郡阿木村に住居を
 定めらる

○篠原忠治君 帝室林野管野局鳴海分担區
 に轉任せらる

○小瀧升太郎君 愛媛縣新居郡居濱町の住
 友別子鑛業所山林課に變ぜらる

○徳武國久君 茨城縣多賀郡役所技手に任
 命せられたり

○安江悦次郎君 山形縣西村山郡役所に轉
 任せらる

○小谷益實君 阿部と改姓せられ福島縣喜
 多方小林區署に轉任せり
 ○後藤豊吉君 岐阜縣竹原村官行伐木所に
 轉せらる

○原正造君 上伊那郡中澤村藏澤寺内に住
 居せらる

○知島穰君 岐阜縣古城郡河合村保護區官
 舎に轉勤せらる

○二木秀久君 福 縣耶摩郡喜多方小林區
 置詰とならる

○上條嘉一郎君 福島縣耶摩郡喜多方小林
 區署に轉せらる

○月田喜代佐君 秋田縣山本郡八森村保護
 區官舎に轉任せらる

○吉田兵太君 舊姓伊東君、鳥取縣林務課
 に奉職せられたり

○内田新之助君 福島縣南會津郡大宮町山
 口小林區署に轉せらる

第十七回卒業生就任報

○遠山虎雄君 帝室林野管理局上松出張所
 小川伐木所(赤澤)に就任

○大島晃治君 福島縣若松市若松小林區署
 に就任

○木林榮一君 滋賀縣廳森林課に就任

○峰村歲末君 長野小林區署に就任

○山中三十四君 長野縣廳に就任
 ○三原忠一君 諏訪郡宮川村六十三銀行茅
 野支店勤務せらる
 ○山口久君 東京目黒林業試驗場に就任

○吉田正男君 北海道廳林務課に就任
 ○野口勇君 北海道廳林務課に就任

林友代領收報告

一金貳圓 高橋 秀惣

正誤 前第百廿六號中にて

○誤 雜誌 部長 藤田 喜一

副部長 小幡 弘

部長 小幡 弘

副部長 藤田 喜一

○第二學年精勤者中にて脱落せし者
 福井 浩

○入學許可者中福島縣石城郡三坂村大谷乾
 隆は不許可の誤